

## 自己評価報告書

平成23年5月10日現在

機関番号：15301

研究種目：基盤研究 (C)

研究期間：2008～2011

課題番号：20530200

研究課題名 (和文) 中日経済の多部門計量モデルの構築と日本の対中直接投資のシミュレーション分析

研究課題名 (英文) Multi-sectoral Econometric Model of China-Japan Economic Relations and the Simulation on Japanese Foreign Direct Investment in China

研究代表者 藤 鑑 (TAN JYAN)

岡山大学・大学院社会文化科学研究科・教授

研究者番号：40346408

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：経済学・応用経済学

キーワード：中日経済、多部門計量モデル、接続中日国際産業連関表、直接投資、技術移転

## 1. 研究計画の概要

本研究の目的は、第1には、中日経済のデータベースを構築すること、第2には、中日経済の多部門計量モデルを開発すること、第3には、同モデルを用いて日系企業の経済活動が両国の経済に及ぼす影響や対中直接投資に伴う技術移転などをシミュレーション分析することにある。

そのため、本研究では、中日経済の既存統計資料に基づいて、SNAデータの整備（支出、分配、雇用・賃金、価格、付加価値、生産決定など）と産業連関表データの新規推計（2005年）、および新SNAと産業連関表の接合を行い、モデルのためのデータベースを構築する。また、支出（最終需要）、生産決定、付加価値形成、雇用・賃金、価格決定の5つのブロックから中日経済の多部門計量モデルを開発する。そして、このモデルを用いて日本の対中投資や技術移転などの実証分析や将来展望を行う。

## 2. 研究の進捗状況

これまで本研究で得られた成果は次通りである。

(1) 中日経済の多部門計量モデルの理論的構成と定式化を行っている。具体的に、中日経済の多部門計量モデルのマクロ経済で支出（最終需要）、雇用・賃金、価格決定、付加価値形成、生産決定の5つのブロックに

ついて、モデルの理論的構成を行い、経済変数間の相互依存関係を検討し、これに基づいてモデルの定式化を行っている。とくに多部門モデルの研究蓄積が乏しい中国モデルについて、データベースの整備とともに、モデルの構成など改善、改訂を行っている。

(2) 中日両国の産業分類基準についての比較では、3桁レベルで中日間の産業分類には対応していない部分が存在しているため、中日間の経済統計データを3桁分類レベルで組み換えることに難点があることが始めて明らかにした。

(3) 中日経済多部門計量モデルのデータベースを構築するために、Economate I-O（マクロエコノメリックス研究会）を活用し、時系列中日国際産業連関表（中日表）を推計する方法を開発した。Economate I-Oは、RAS法による産業連関表予測表を作成できるソフトである。このソフトでは、実績表に基づいて投入係数をはじめ種々の係数を機械的に推計した上、ユーザによる調整を加えて予測表を求める。われわれの研究では、このソフトの予測機能を中日表の作成に活用し、2000年中日表（実績）と2005年の中国と日本の一国表に基づいて2005年中日表（2000年基準）を早期推計して、接続中日表の更新を果たした。

## 3. 現在までの達成度

本研究課題の当初研究目的の達成度について、やや遅れている。

その理由は、本研究のモデルのためのデータベースの開発が遅れたことにある。データベースのための統計資料、とくに中国の産業連関表ベースのデータ（2004年工業センサスに基づいた2005年公式表の改定やインフレタの代表品の更新など）には莫大な時間がかかっている。

#### 4. 今後の研究の推進方策

デフレーター推計のための代表品の代替などを行う。モデルの枠組みの構築に関しても、データベースの整備状況を踏まえて推計可能なように改定したい。

#### 5. 代表的な研究成果

〔雑誌論文〕（計3件）

藤鑑「中日経済の多部門計量モデルの枠組み—中国多部門モデルの検討を中心として」

『岡山大学経済学会雑誌』第42巻第4号、2011年3月、17-39。

藤鑑・房文慧・単万里「Economate I-Oの活用による中日国際連関表の早期推計」『岡山大学経済学会雑誌』（査読無）、第41巻第3号、2009年12月、pp. 19-200。

房文慧「中国と日本との産業分類の比較」『敬和学園大学研究紀要』（査読無）、第18号、2009年2月、pp. 69-89。

〔学会発表〕（計1件）

藤鑑「Economate I-Oの活用による中日国際連関表の早期推計」、環太平洋産業連関分析学会第20回（2009年度）大会、2009年10月31日、北海道函館市（サン・リフレ函館）

〔図書〕（計0件）

〔産業財産権〕

〔その他〕